

令和3年度事業報告

I 公益目的事業

1 防火防災普及事業関係（公1）

(1) 情報誌（セフティ）、インターネットを活用した情報提供事業

ア 防災専門家からの寄稿、消防関係法令等の改正概要や仙台市消防局からのお知らせなど、消防防災情報の提供を目的に、情報誌「セフティ」定期号（第34号）を編集・発行し、会員事業所等に配布した。

□発行部数 1,500部

イ インターネット（ホームページ）を活用し、甲種防火管理講習をはじめとする各種法定講習や応急手当講習、協会の事業概要等の案内や、時宜に応じた市民生活の安全・安心に直結する防火・防災に関する情報等を配信した。

また、協会で主催した消防技術研修会（災害対応研修会・防災技術研修会）の結果をホームページにより情報提供した。

さらに、会員事業所における防火・防災の取り組み状況を、多数の事業所の参考となるようホームページに掲載した。

(2) 自主防災力の向上及び防災関係強化週間に関する普及啓発事業

ア 市民公開の消防技術研修会（災害対応研修会・防災技術研修会）を市内各消防署の協力を得て市内4ヶ所で開催し、消火器、屋内消火栓、AEDの取扱いを含む救急技術等の実践的な習熟を通じ自主防災力の向上を図った。

□参加状況 57事業所から延134名参加

また、事業所及び市民向けに「119番通報要領」のリーフレットを作成し会員事業所等に配布した他、要領の動画も併せて作成し、各地区へ配布すると共に当協会ホームページに掲載した。

□リーフレット配布数 1,100部

イ 事業所の防火防災対策の充実強化と市民の安全確保に資することを目的に実施する優良事業所視察研修会は新型コロナウイルス感染防止対策のため中止とした。

ウ 春季・秋季火災予防運動等の時期をとらえて、防火に関する啓発ポスターやチラシを作成・配布して、事業所や市民の防火防災意識の向上を図った。

□防火ポスター 6,800枚

□防火チラシ 43,000枚

また、防災読本「ハザードマップを確認していますか？」を全会員事業所等に配布し、防災意識の啓発を図った。

□冊子配布数 1,300部

エ 市内の小中学校に最新の防火防災情報を掲載した新聞（消防写真新聞）を配布し、児童、生徒に対する防火防災意識の普及高揚を図った。

□新聞配布数 2,590部

オ 市民の防災思想の普及高揚を図るため、東北大学平川新名誉教授により、「東日本大震災から10年が経過して～歴史と災害～」、仙台89ERS志村雄彦代表取締役社長により「プロスポーツと災害と地域貢献」、仙台市危機管理局折原氏により「家庭で職場でおりはらアドバイザーワンポイント防災講座」、仙台市消防局笠松氏により「建物を変更する場合の留意事項」と題して、WEB併用による市民公開講演会を開催した。

□参加状況 市民等約64名参加（会場）

他、WEBによる参加

(3) 各種イベントへの参加による普及啓発事業

仙台市が主催した、各種イベントに参加し、防火や地震被害に関する情報提供を行い、市民及び事業所等の防災意識の普及高揚を図った。

(4) 防災減災啓発事業

ア 防災パネルの展示

仙台市の委託を受け、仙台市等が主催したイベント会場や各種学校、市民センター、市・区役所等に防災パネル（火災予防に関する情報や地震・津波による被災状況等）及び防災用品等の展示を行うとともに、各種イベントの主催者へ防災パネル等の貸し出しを行い、市民の防災・減災思想の普及啓発を図った。

□防災パネル展示件数 272回 延301日

イ 地震体験車「ぐらら」の運用

仙台市の委託を受け、市内の町内会、事業所、学校その他、各種イベント会場等に地震体験車「ぐらら」を持ち込み、不特定多数の方に地震の擬似体験をしてもらうとともに、各種防災相談の他、車両に積載の器材を活用し、津波等の画像を取り入れた防災指導等を通じ、地震の恐ろしさ、地震への備えの重要性等について認識してもらうなど、東日本大震災の教訓を風化させない取り組みを推進した。

□模擬地震体験者数 1,802名

(5) 災害弱者の訪問防火指導及び家具転倒防止対策推進事業

ア 災害弱者の訪問防火指導

仙台市の委託を受け、火災の未然防止と被害の軽減を図るため、市内在住の災害弱者世帯（災害が発生した際に援護が必要なひとり暮らしの高齢者や重度の障害を持った方等をいう。以下、同じ。）を職員が個別に訪問し、防火防災に関する相談に応じるとともに、有事の際の安全確保上のチェックや消火器の使い方、119番の通報要領などの指導を行った。

なお、当該事業に関する実施結果は仙台市消防局に報告し、災害発生時の消防隊の重要活動支援情報として活用している。

□訪問指導数 2,711世帯

イ 家具転倒防止対策

仙台市の委託を受け、市内在住の自力で防衛策を講じることが困難であると考えられる災害弱者世帯のうち希望者宅を訪問し、地震発生時における家具転倒による被害の防止・軽減を図るため、居間、寝室等の家具（タンス、食器棚等）に転倒防止用金具の取付けや地震対策等に関する助言や指導を行った。

なお、当該事業に関する実施結果は仙台市消防局に報告し、地震対策の推進資料等として活用している。

□取り付け数 82世帯144台の家具に取り付け実施

2 各種講習事業関係（公2）

(1) 防火管理講習事業

仙台市の委託を受け、防火管理者の資格を取得できる講習等を実施した。

□甲種防火管理新規講習

12回開催 1,521名受講

□甲種防火管理再講習

2回開催 236名受講

(2) 防災管理講習事業

仙台市の委託を受け、防災管理者の資格を取得できる講習等を実施した。

□防災管理新規講習

2回開催 117名受講

□防災管理再講習

1回開催 24名受講

□防火・防災管理新規講習

4回開催 471名受講

□防火・防災管理再講習

2回開催 151名受講

(3) 自衛消防業務講習事業

仙台市の委託を受け、自衛消防組織及びその統括管理者等に係る知識と技術を習得できる講習等を実施した。

□自衛消防業務新規講習

44回開催 498名受講

□自衛消防業務再講習

2 1 回開催 2 4 2 名受講

(4) 応急手当講習事業

仙台市の委託を受け、市民の正しい応急手当に関する知識・技術の普及啓発を図ることを目的として、国際基準の日本版蘇生ガイドラインに基づく「普通救命講習（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）」、「上級救命講習」及び「応急手当普及員講習（再講習含む）」を実施した。

また、市内各消防署の要請に応じて、町内会や事業所等に出向し、救命講習の支援業務を実施した。

□普通救命講習

2 3 9 回開催 1, 0 5 2 名受講

□上級救命講習

3 4 回開催 2 9 2 名受講

□応急手当普及員講習

6 回開催 2 9 名受講

□応急手当普及員再講習

1 2 回開催 1 4 5 名受講

□応急手当普及員認定講習

1 回開催 1 8 名受講

(5) 防火対象物点検資格者講習事業

（一財）日本消防設備安全センターの委託を受け、防火管理業務が適正に行われているかを点検することができる資格者養成講習を実施した。

□防火対象物点検資格者講習

1 回開催 4 8 名受講

□防火対象物点検資格者再講習

2 回開催 9 1 名受講

(6) 防災管理点検資格者講習事業

（一財）日本消防設備安全センターの委託を受け、防災管理業務が適正に行われているかを点検することができる資格者養成講習を実施した。

□防災管理点検資格者講習

1 回開催 2 3 名受講

□防災管理点検資格者再講習

1 回開催 5 0 名受講

(7) 市民生活の安全確保に資する講習事業

ア 危険物取扱者乙種第四類の資格取得を目標とする市民を対象に、危険物取扱者試験準備講習を実施した。

□危険物取扱者試験準備講習

4回開催 149名受講

※当協会講習受講者の合格率45.2%

(仙台市会場の合格率:40.7%)

- イ (一財)日本石油燃焼機器保守協会の委託を受け、石油燃焼機器等の適切な維持管理に関する、石油機器技術管理新規講習及び同再講習の補助業務を実施した。
- ウ (一財)消防試験研究センター宮城県支部の委託を受け、消防法令に基づく消防設備士、危険物取扱者等の資格試験の願書送付等補助事務を実施した。

II 収益事業

1 消防用設備等の保守点検等事業 (収1)

(1) 消防用設備等保守点検事業

仙台市有施設のうち、委託を受けた施設に設置されている消防用設備等について、消防法第17条の3の3の規定に基づく消防用設備等の点検報告業務、同法第8条の2の2の規定に基づく防火対象物定期点検業務及び同法第36条第1項の規定に基づく防災管理点検業務を実施するとともに、施設の防火、防災管理上の観点から側面的なアドバイスをを行った。

(2) 廃消火器リサイクル推進事業

(一社)日本消火器工業会との委託契約に基づく消火器リサイクルシステム事業の「特定窓口」として市民からの要望に応じ、一般家庭の廃消火器(老朽化や腐食により使用に耐えない消火器)の引取り業務(廃消火器の収集、運搬、一時保管)を実施した。

2 防災用品、防災関係図書頒布等事業 (収2)

(1) 防災用品等の頒布事業

市民を対象に、火災や地震等の災害から身を守るために必要な防火防災用品及び応急手当用品等の頒布を行った。

(主な頒布品)

非常用持ち出し袋、携帯トイレ、サイレン付ラジオ&ライト、飲料水、非常食、家具固定バンド、耐震マット、三角巾、フェイスシールド等

(2) 防火防災・救急関係の図書頒布事業

市民を対象に、防火防災・減災に役立つ専門図書や応急手当、救急についての情報・技術を提供する図書等の頒布を行った。

(主な頒布図書)

仙台市火災予防例規集、みちしるべ(乙種第四類危険物取扱者試験対策用)、乙種第四

類危険物取扱者試験模擬問題集、地下タンク定期点検簿、応急手当等関係書等

(3) 消防防災関連機関の補完支援事業

ア 仙台市消防局親和会（仙台市消防局職員の親睦団体）から委託を受け、記念行事、式典などで職員が着用する消防礼服の管理業務等を行った。

イ 仙台市消防親睦会（仙台市消防局退職職員の親睦団体：OB会）の委託を受け、会員管理等の運営事務を行った。

Ⅲ 会議関係

理事会	第1回 令和3年 5月11日（火） フォレスト仙台	・ 令和3年度定時総会に付議すべき事項等について審議した。
	臨時 令和3年 6月 8日（火） フォレスト仙台	・ 部会長の選任について審議した。
	第2回 令和3年11月22日（月） 仙台国際ホテル	・ 令和3年度上期事業執行状況等について審議した。
	第3回 令和4年 3月15日（火） フォレスト仙台	・ 令和4年度事業計画及び予算等について審議した。
定時総会	令和3年 6月 8日（火） フォレスト仙台	・ 令和2年度事業報告の件及び決算の件（監査報告含む）並びに理事の補欠選任の件について審議した。 また、令和3年度事業計画及び収支予算の件について報告を行った。
表彰審査委員会	令和4年 3月15日（火） フォレスト仙台	・ 令和4年度定時総会時に行う、理事長、防火管理部会長、危険物保安部会長、安全指導部会長表彰の定例表彰受賞対象者を審査した。

Ⅳ 組織の強化

1 会員の入会促進

協会の事業を積極的にPRして協会組織の充実強化を図るため、新たな事業所の入会促進に努めた。

2 職務能力の向上等

職員個々の職務能力向上を図るためOJTや接遇応対等に関する各種研修を行うとともに、人事評価制度等による人材の育成に努め組織体制の強化を図っている。

新規入会会員一覧表

令和3年度入会会員

(敬称略)

番号	事業所名	〒	住所	代表者
1	(株)A・Uアソシエ	980-0001	仙台市青葉区中江一丁目15-1	代表取締役 板橋 英作
2	(合)サポートサービスオレンジ	980-0003	仙台市青葉区小田原八丁目 11-6-1305	代表社員 杉沢 修
3	(株)アドコーポレーション	980-6023	仙台市青葉区中央四丁目 6-1 SS30-23F	代表取締役 渡邊 信行
4	松田産業(株)仙台営業所	983-0025	仙台市宮城野区福田町南一丁目 9-45	所長 田口 淳之
5	総合警備保障(株)宮城支社	980-6006	仙台市青葉区中央四丁目 6-1 SS30-6F	支社長 秋吉 直敏